

報道関係者各位

特定非営利活動法人ファザリング・ジャパン
 東京都文京区本駒込1-3-2-307
 代表電話 050-8884-4252
 携帯電話 090-4759-3994(安藤)
 Eメール info@fathering.jp
 担当 : 安藤・田中



心肺蘇生 & AEDは「頼れるパパ」の必修科目です

小児救急医療問題に「市民」が突破口をひらく！
 2010年1月17日(日)「こどもファーストエイド講習会」開催

特定非営利活動法人ファザリング・ジャパン(東京都文京区 代表安藤哲也)は、来る2010年1月17日(日)、小児の父親を対象に「こどもファーストエイド講習会」を開催します。獨協医科大学越谷病院救急救命センター長・池上敬一氏が代表を務める「特定非営利活動法人救急医療の質向上協議会」と提携し、こどもの心肺蘇生法およびAED使用法のほか、代表的なケガや事故の応急手当について、実習を通して学べるプログラムを提供。頭で「わかる」だけでなく、実際に「行動できる」パパ・ママを増やすことを目的としています。

日本の救命救急医療は、救急搬送中のたらいまわしなどに代表される様に、大きな社会問題として注目されています。その解決のためには、父親や母親などの一般市民こそが重要なカギを握るステイクホルダーである！という考えに賛同し、医療関連NPOと、子育て支援関連NPOが連携。市民レベルの応急手当のスキル保持者を増やすために立ちあげられました。さらに、今回は世界的に例のない「市民向けの医療関連スキル教育に関する実態調査」を行うことも特徴のひとつです。受講者を対象に、講習会当日の理解度や心理的障壁の多寡等を調査する他、受講後1ヵ月後/1年後のスキル保持度合い、心理的障壁の変動等について追跡調査を行います。

心肺蘇生およびAEDのスキルを身につけることは、「いざ！という時に頼りになるパパ」の必修科目！
 家族を守ることはもちろん、日本の救急医療問題をも支えるパパたちを育成します！

なぜ「市民のスキル保持者」が必要か？

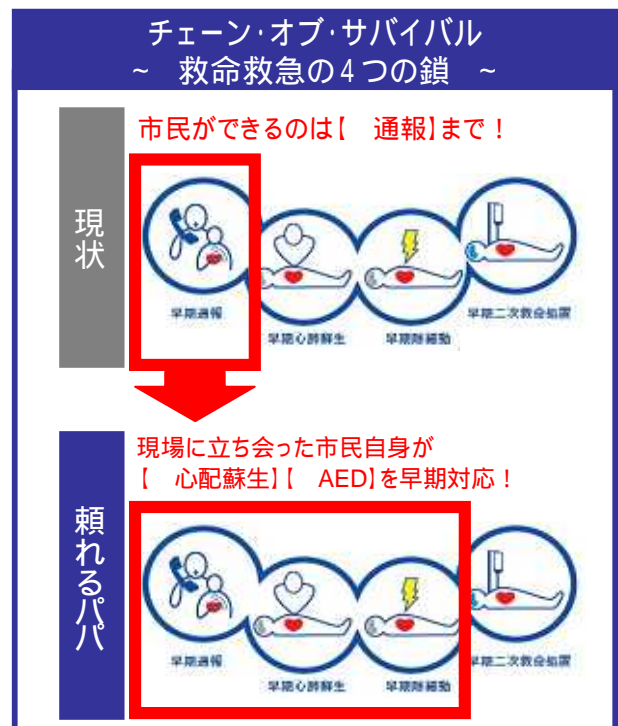
救急医療には「チェーン・オブ・サバイバル」という概念があります。
 [通報]、[心肺蘇生]、[AEDの実施]、[二次救命措置]の4つの工程が、順番に、かつ早急に行われることで「命の鎖」をつなぐことができる、というものです。

また、日本のAED普及台数は20万台を超えたものの、心肺蘇生やAEDのスキル保持者はおよそ5%程度に留まっているという現実があります。結果として、市民レベルでは「通報」までしか行われなことが大半です。

救急車が到着するまでの対処が重要！

心肺停止後、救命率は1分ごとに約10%低下するといわれています。しかし、通報を受けて救急隊員が患者に接触し、救命措置を開始するまでの所要時間は[平均約12分]。つまり、救急隊員が現場に到着しAEDを開始する時点で、救命率は0%以下になっていることは少なくありません。

そこで重要なのは、ケガや事故の現場に立ち会うことが多いパパ・ママ自身が、心肺蘇生法やAEDを使った応急手当のスキルを身につけ、救急隊員到着までの間に、「チェーン・オブ・サバイバル」の鎖をひとつでも多く繋いでおくことなのです。



NPO法人ファザリング・ジャパン
<http://www.fathering.jp/>

「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やし、ひいてはそれが働き方の見直し、企業の意識改革、社会不安の解消、次世代の育成に繋がり、10年後・20年後の日本社会に大きな変革をもたらすということを感じてさまざまな事業を展開していく、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトです。

NPO法人救命医療の質向上協議会
<http://cats-npo.net/>

「地域全体のICU化」を目指し、市民が安全・安心・元気に暮らせる社会作り貢献するため、救命医療に関する教育コンテンツ開発や、普及事業を行います。理事・社員が救急医療の専門職で構成されています。

報道関係者各位

特定非営利活動法人ファザリング・ジャパン
 東京都文京区本駒込1-3-2-307
 代表電話 050-8884-4252
 携帯電話 090-4759-3994(安藤)
 Eメール info@fathering.jp
 担当 : 安藤・田中

添付資料
イベント実施概要子育て支援基金助成
こどものファーストエイド講習会 開催概要

【イベント概要】

日時: 2010年1月17日(日) 13:30~16:30(13:15受付開始)
 場所: セシオン杉並(東京都杉並区梅里1-22-32)
 ・丸ノ内線東高円寺駅下車徒歩5分または新高円寺駅下車徒歩7分
 定員: 40名(先着)
 ・中学校1年生以上のお子様は、大人と一緒に受講することが可能です。
 費用: 参加費無料
 申込: shounifa09@gmail.com (こどものファーストエイド講習会受付)
 受講に関するお問い合わせは上記メールアドレスにご連絡ください。
 主催: 特定非営利活動法人救命医療の質向上協議会
 協力: 特定非営利活動法人ファザリング・ジャパン
 助成: 独立行政法人福祉医療機構

【プログラム・内容】

第一部:小児ファーストエイド(応急手当)講習

- 1)心肺蘇生法およびAEDの使い方(45分)
- 2)ケガや事故などの応急手当(45分) + 質疑応答(15分)

【講師】

・池上 敬一氏

(NPO法人救急医療の質向上協議会代表 / 獨協医科大学教授/獨協医科大学越谷病院救急救命センター長)

・NPO法人救急医療の質向上協議会が派遣するインストラクター

(医療従事者)

第二部:トークセッション

「心肺蘇生法&AED使用法は、パパ・ママの必修科目です！」

【パネラー】

・池上敬一氏 (同上)

・田中尚人氏 (NPO法人ファザリング・ジャパン副理事 / ぐらんママ社編集長)

・阿真京子氏 (「知ろう!小児医療 守ろう!子ども達」の会 代表)

【調査研究について】

市民を対象とした医療訓練は、世界的にきわめて重要な研究分野のため、この講習会にご参加いただいた方を対象に、別途、受講後のスキル保持に関する調査・研究へのご協力をお願いする場合があります。調査の目的は、「CPR&AEDパーソナルトレーニングキット」の講習会以降の使用状況や、心肺蘇生法・AED使用に関するスキル保持の度合い、心理変化・行動変化などについて実態を把握し、今後、市民を対象に応急手当のスキルを普及していくための基礎資料とすることです。なお、調査方法は下記の3つを予定しており、調査結果は、個人情報を除いて、学会等で発表される論文、主催者の公式サイトなどに掲載される可能性があります。

調査方法

1)アンケート

(講習会参加者:受講当日、終了時にA4・1枚程度を予定)

2)スキルチェック

(10名様程度:講習会当日、受講後1週間、2週間、1ヶ月後の合計4回を予定)

3)対面インタビュー

(5名様程度:受講後1ヵ月、1年後の合計2回を予定)

以上